

新たな議長・副議長の誕生

11月12日、第4回臨時会が開催されました。今臨時会では、人事院勧告などを踏まえて、一般職の職員や任期付職員、市長など常勤の特別職および市議会議員の期末手当支給割合を引き下げるための条例の一部改正や一般会計補正予算（第8号）などを審議し、いずれの議案も原案可決されました。また、倉橋正美議長、戸澤幸雄副議長から辞職願が提出され、議長、副議長の選挙を行いました。さらに常任委員会委員の任期満了に伴う委員の選任など、議会の新体制が決定しました。

議長・副議長 就任あいさつ

議長

久保田 英賢
(政進会・3期)



副議長

永井 浩介
(志政会・3期)



先に開催された第4回臨時会において、議員各位からご推挙いただき、議長に就任いたしました。議会基本条例に定める「市民に信頼される一元代表制の一翼を担う議論ある議会を目指す」ため、さまざまな課題に対し、議会内で議論する場を作りたいと思います。

また、さらに議会が進化していくため、議会改革の推進・検証を行っていきたいと考えております。今後ともご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

今回の一般会計補正予算（第8号）は、▽国や県の補助の対象とならない通所型の障がい福祉事業所や高齢者施設などへの新型コロナウイルス感染症抗原検査キットの配布▽アレルギーなどでワクチン接種できない方へのPCR検査費用の補助▽市制施行50周年記念プレミアム付商品券の追加発行――などの内容で、全員賛成により可決されました。主な審査の概要は次のとおりです。

問 抗原検査キットを配布する施設の詳細について伺います。

答 高齢者施設が154カ所、障がい児者の施設が50カ所、地域包括支援センターなど7カ所の計211施設に1箱10個入りの検査キットを1箱ずつ配布する予定です。

R-CR検査費用を補助する目的について伺います。

答 海老名市では、65歳以上のワクチン接種率が92・4%となり、全体でも85%を超える状況になっています。今後は、ワクチンの接種証明が必要となる機会が多くなると考に就任することとなりました。まことに、身に余る光榮と存じます。

議長とともに、議会の円滑な運営と海老名市政発展のため、精いっぱい努力してまいります。

今後も市民の皆さまのご指導、ご鞭撻を心より、お願い申し上げます。

うことになっていて、どこで受けられるのか、いつから開始されるのかなどが不明です。国・県の方針が決まつたら、変更することもありますが、市は12月から始めます。

補助制度の周知方法について伺います。

答 広報えびなやホームページで周知するほか、医療機関での周知も行いたいと思います。

議長・副議長の選挙

* * 一般会計補正予算(第8号) *

議長選挙の結果、久保田英賢議員（政進会）が有効得票数21票中21票を獲得し、第57代の市議会議長に選ばれました。

新議長の久保田英賢議員は、上今泉在住で市議会議員3期目の54歳。これまでの議会の役職としては、市議会副議長、総務常任委員会、文教社会常任委員会、議会運営委員会、議会改革特別委員会の委員長などを歴任しています。

また、副議長選挙の結果は、永井浩介議員（志政会）が有効得票数20票中19票を獲得し、副議長に選ばれました。新副議長の永井浩介議員は、国分寺台在住で市議会議員3期目の42歳。これまでの議会の役職としては、経済建設常任委員会、基地対策特別委員会の委員長、総務常任委員会、議会運営委員会の副委員長などを歴任しています。

このほか、常任委員会委員の任期満了に伴う委員選任、一部事務組合議会議員の選挙、議席の変更などを行いました。

* * 新たな監査委員を選任 *

監査委員に福地茂議員を選任する議案が提案され全員賛成で同意しました。福地茂議員は、門沢橋在住で市議会議員6期目の65歳。

これまでの議会の役職としては、市議会議長をはじめ、市議会副議長、文教社会常任委員会、経済建設常任委員会、高速道・相模川対策特別委員会の委員長などを歴任しています。現段階での情報では、都道府県が主体となつて行